

2013. 2【vol.32】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社
発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|--|----|
| 1. 関西支社管内の気象及び水源状況 | 1p |
| 2. あの日のことは忘れない
危機管理対応訓練～機構の備え～ | 2p |
| 3. 正蓮寺川利水 高見機場耐震補強工事 施設見学会 | 3p |
| 4. 機構からの出向者紹介 | 4p |
| 5. 【報告】 | |
| (1) ISO14001更新審査を受けました | 5p |
| (2) 救命救急講習会を開催しました | 6p |
| (3) 「猪名川クリーン作戦」に参加して | 6p |
| 6. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』のご紹介 | 7p |
| 7. 「水資源機構に関するアンケート調査」について(御礼) | 7p |
| 8. イベント情報 | 7p |
| 9. 水源地マラソン紀行(その8) | 8p |

編集後記



1. 関西支社管内の気象および水源状況

1月の気象状況は、気象庁の発表によると、日本付近は冬型の気圧配置となる日が多く、太平洋側では晴れの日が多かったそうです。確かに、関西支社管内の水源においても、1月上旬の降雨は非常に少なかったのですが、中旬および下旬に降雨があったため、月間の降水量は日吉ダムを除き平年並でした。したがって、各水源（各ダム）の流況は安定した状況でした。

室生ダムおよび一庫ダムでは、1月下旬に平常時最高貯水位付近に達しました。これにより、関西支社管内の全ダムにおいて、貯水率が90%以上となっております。

～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年2月8日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	133.11	4,447	90.4	53	51
青蓮寺ダム	276.51	1,866	97.7	48	52
室生ダム	294.93	1,275	95.8	46	51
布目ダム	283.52	1,230	96.8	48	53
比奈知ダム	300.49	1,493	97.6	56	50
一庫ダム	148.69	2,641	98.6	40	40
日吉ダム	191.04	3,534	98.2	28	51
琵琶湖	B.S.L. -16cm ^{※1}	—	—	104.3	121.7
7ダム 合計	—	16,486	93.6%	—	—

※1 琵琶湖水位は、2月8日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 降水量については、1月1日～31日までの累計値で、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

2. あの日のことは忘れない！ 危機管理対応訓練 ～機構の備え～

1995年1月17日午前5時46分に阪神・淡路大震災は発生しました。水資源機構ではあの日を風化させないため、また日頃の防災意識・対応能力の維持・向上を図ることを目的に毎年1月17日に危機管理対応訓練を実施しています。

大規模地震の発生時には必ずしも十分な防災要員が確保できるとは限らないことから、まずは職員ひとり一人がきちんと防災業務を把握し遂行できるようにしておく必要があります。

このため今年度は、昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の教訓も踏まえ、地震発生時のいかなる場合でも素早く防災要員を招集し、防災本部を設置し、防災業務を行えるようにするための訓練を実施しました。

訓練は、休日中に地震が発生し、公共の交通機関が不通になったことを前提とし、地震発生時の連絡を受けた職員が千里宿舍の防災室に集まり、仮防災本部を設置し防災態勢の発令を行いました。その後、各現場からの情報を収集するとともに関係機関へ被害状況等を報告する情報伝達訓練を行いました。

また、電力の供給が途絶え、予備発電設備が自動的に起動しなかったことを想定し、予備発電設備の手動による起動訓練も行いました。

大規模な地震が発生しないことが一番なのですが、想定外の出来事に対しても水資源機構が担う使命を十分発揮できるよう、また少しでも被害を少なくすることを目指し、今後も万全の体制で管理を行って参ります。



情報伝達訓練を行う職員



予備発電機起動訓練を行う職員

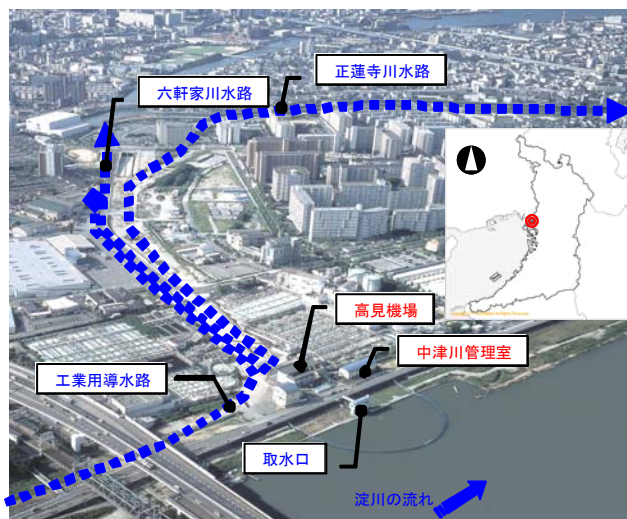
(関西支社 施設管理課)

3. 正蓮寺川利水 高見機場耐震補強工事 施設見学会

平成25年1月29日(火)、関西支社管内の利水者の方々に、正蓮寺川利水の高見機場耐震補強工事を見学いただきました。

高見機場耐震補強工事は、高見機場の地下水槽の耐震補強を、平成23年度から平成25年度の3ケ年に分けて実施するもので、平成24年度は11月中旬～3月上旬にかけて施工を行っています。

耐震補強工事は、地下水槽の壁面や底版等に鉄筋を挿入し補強を行う工法(RMA工法)およびコンクリート面に鋼板を張り付け耐力を向上させる工法の施工を行っており、現地で見学していただきました。



中津川管理室 航空写真

見学会に参加された方々からは、「普段、立ち入ることが出来ない箇所を見学でき、施設の劣化状況が良くわかった。」や「次回も、このような現場見学会を実施してほしい。」などのご意見をいただき、耐震補強工事の現地見学にご満足いただけたと感じております。あわせて、正蓮寺川利水事業の施設の管理状況も見学いただきました。



地下水槽(底部)での鉄筋挿入の施工状況

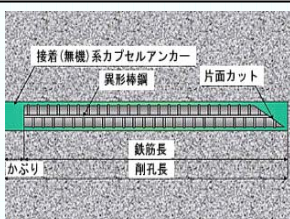


地下水槽(壁面)への鋼板接着した施工を説明

最後に、施設見学会に参加いただいた方々に対しまして、年度末の多忙な時期にもかかわらず、施設見学会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

次年度におきましても、皆様から戴きましたご意見・ご要望を反映していけるような施設見学会を企画し、ご案内いたしますので、ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

(関西支社 中津川管理室)



「RMA工法」とは、
新技術情報提供システムNETISに登録されている工法で、構造物内にせん断補強鉄筋をモルタルカプセルと一緒に打ち込むというシンプルな工法で、補強後も通水断面を全く阻害しないせん断補強工法です。



「鋼板接着工法」とは、
壁を両側から鋼板で挟んで中間貫通鋼棒により拘束し、接着する工法であり、施工後も通水断面をほとんど阻害しない工法です。

4. 機構からの出向者紹介

国土交通省近畿地方整備局淀川ダム総合管理事務所の防災情報課で働く『問山 昭彦さん』を紹介いたします。

問山さんは、昭和62年に水資源開発公団に入社し、昨年の4月に水資源機構本社から現在の事務所に転出して、主にダム統合管理事務所の電気通信設備やレーダ雨量計などの設備の維持管理を行っています。

特に、レーダ雨量計の設備の保守については、観測データをインターネット上でリアルタイムに公表している関係で、設備に不具合が生じないよう細心の注意を払って管理しているとのこと。

問山さんが所属する防災情報課では、淀川水系全体の流水管理や水防などの調整も行っています。

また、淀川水系にあるダムや堰などを効率良くコントロールするためには、リアルタイムで水系全体の水文状況を把握し、今後の予測を適切に行っていく必要があることから、淀川ダム統合管理事務所では、「流水管理システム」を構築して運用しています。近畿管内にある国土省の河川事務所や水資源機構を対象として、流水管理システムについての説明会を行うにあたり、問山さんは、事務局を担当しています。



淀川ダム統合管理事務所に勤務する問山さん

通常業務以外では、大雨や融雪により、天ヶ瀬ダムの防災操作を行う場合には河川巡視に出動し、また、ダムの防災操作が長期間に渡る場合には、天ヶ瀬ダム管理支所に泊まり込み、刻々と変化する状況に対応するためゲート操作を行います。

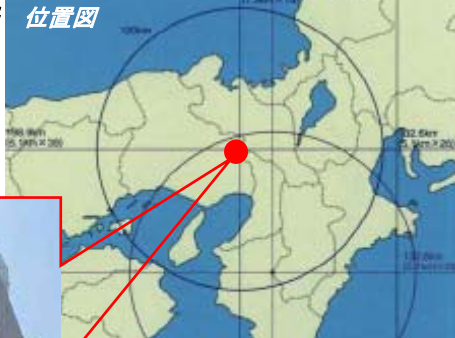
問山さんは、大阪府池田市から事務所のある枚方市まで電車通勤しており、通勤時間はおよそ2時間かかります。朝6時に自宅を出発し、帰宅時刻は夜中12時過ぎになることもあるそうです。

マラソンが趣味とのこと、7、8年前から本格的にのめり込み、フルマラソンに出場していたそうですが、数年前から走っていないようです。ご本人のマラソン意欲が無くなったわけではなく、近々マラソンを

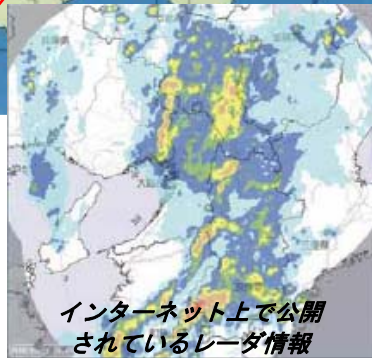


事業の概要説明する問山さん（一番右側）

深山雨量レーダ観測局 位置図



深山雨量レーダ観測局



インターネット上で公開されているレーダ情報
<http://www.river.go.jp/>

復活したいとのことでした。また、本当の趣味は、魚釣りということですが、3年前に海釣りを最後にして、ご無沙汰のようです。

問山さんとの会話を交わす中で、仕事に厳しく、人に優しい人柄を垣間見ることができ、バイタリテイ溢れる熱い気持ちが伝わってきました。

今後においても体調など崩すことがないように頑張ってくださいと思います。

水レター「びわ湖・よど川」では、次号からも出向者の紹介を連載して参ります。

(関西支社 利水者サービス課)

5. 【報告】

(1) ISO14001更新審査を受けました

1月22日（火）～25日（金）の4日間で、外部の審査登録機関によるISO14001更新審査を受けました。

ISO14001の認証取得による環境マネジメントシステムの運用について、平成19年3月には川上ダム建設所で、翌年3月には琵琶湖開発総合管理所で、平成22年3月には関西支社、中津川管理室、木津川ダム総合管理所、一庫ダム管理所、日吉ダム管理所の合体が認証取得しました。さらに、平成23年9月にはこれらを全て統合して現在に至っています。

ここでISO14001とは、国際標準化機構（ISO）が定めた環境マネジメントに関する国際規格のことです。この他、様々な品質管理や労働安全などに対し、このISOで定められた国際規格が定義されています。

次に環境マネジメントシステムとは、企業活動を行うことによって生ずる様々な環境負荷や対策についてシステムを構築して運用することにより、様々な企業活動・業務がより良く改善していく仕組みのことです。

また審査登録機関とは、我が国においてISO規格を管理している公益財団法人日本適合性認定協会より認定を受け、ISOを取得した企業の審査ができる機関のことです。

審査4日間の初日には関西支社で総括的な審査、2、3日目には各部門の審査ということで管内の事業所で個別の審査が行われました。機構側からは、環境マニュアル（環境マネジメントシステムを運用する上での決まり事や手順）に定められた内容に従ってまとめた資料の説明や今年度取り組んだ環境対策・活動について説明を行いました。

最終日のクロージング・ミーティングに審査員からの所見が説明され、不適合となる項目もなく、審査としては審査判定委員会に対し認証の更新を推薦するとの結果となりました。今後は、認証機関内で審査され適合と判断された場合は、正式に認証の更新となります。

関西支社としては、今後も環境マネジメントシステムを運用し、環境に配慮した効率のよい業務を目指すと共に、更なる業務改善に取り組んでいきたいと考えています。



トップマネジメント(支社長)インタビュー



関西支社部門個別審査（総務課）

(関西支社 設計環境課)

(2) 救命救急講習会を開催しました

平成25年1月30日(水)、大阪市中央消防署職員5名を講師に迎え、関西支社の職員等14名の参加者による救命救急講習会を実施しました。

当日は、救命救急の重要性に関するDVDを鑑賞後、二班に分かれて「心肺蘇生」「AEDの操作方法」の実践を行い、最後に119番通報発生から救急車到着時間(大阪市平均5分)を想定し、受講者の代表者が一人で5分間の心肺蘇生を体験しましたが、想像以上の重労働であることを実体験で学びました。

一番大切なことは、目の前で人が倒れたときに、あなたの「勇気がある一歩」で救える命があるということです。



心肺蘇生の対処訓練を行う機構職員

(関西支社 総務課)

(3) 「猪名川クリーン作戦」に参加して

今回で、10回目を迎える「猪名川クリーン作戦」に参加しました。

一庫ダム下流域の猪名川を美しくしようと、50を超える団体が参加された、「大」作戦です。

水資源機構からは、一庫ダム・関西支社の職員などの総勢15名で、その作戦〔ゴミ拾い〕に取り組みました。

多岐にわたるゴミの成果品は、燃えるゴミ、不燃物、カン、ビン、テレビ等の大型ゴミの5種類に分別し、全部で20袋以上となりました。

前々日までの天気予報では雨。前日の天気予報は朝まで雨。結果は、作戦開始時までは雨はあがり、気温が上昇。準備万端でとの思いから、雨合羽の上下着用で参加した初心者の私は、上着を脱ぎすてながら、気持ちいい汗をかくことができました。

少しでも、猪名川の美化のお役に立てたらと思います。



拾い集めたゴミを収集し、一段落

(関西支社 総務課)

6. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に倣い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得て、より強い組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』を紹介いたします。



今回は、『て』、『あ』、『さ』です。

7. 『水資源機構に関するアンケート調査』について（御礼）

水資源機構の事業につきましては、平素より一方ならぬご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

当機構業務の実施状況に関しまして、1月に実施させていただきましたアンケート調査につきましては、ご多用のところご回答いただきましてありがとうございました。

ご回答いただきましたアンケート結果につきましては、とりまとめ後、ご協力いただきました利水者等の関係機関の皆様に対しまして、6月頃にご報告するとともに、アンケート結果から得られました皆様からの評価やご意見、ご要望等につきましては、職員一同、真摯に受け止め、今後の効率的な事業運営に反映すべく、なお一層の努力をしまいる所存でございますので、更なるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

8. イベント情報

2月24日に開催される「名張青蓮寺湖駅伝競走大会」は、今回で27回目を迎える毎年恒例の大会です。地元から参加するランナーと共に水機構の職員も参加しますので、興味のある方は、三重県名張市にある青蓮寺ダムまでお出かけください。

イベント	開催時期	開催場所	主催	概要
月ヶ瀬梅溪梅まつり	2月17日(日) ～3月31日(日)	奈良県奈良市月ヶ瀬	・月ヶ瀬観光協会	地元の特産品の販売など
	(月ヶ瀬観光協会ホームページより) http://www.tsukigasekanko.jp/			
第27回名張青蓮寺湖駅伝競走大会	2月24日(日)	三重県名張市 (青蓮寺湖周辺)	・名張市	駅伝大会の開催や豚汁のサービス
	(名張市ホームページより) http://www.city.nabari.lg.jp/hp/page000017200/hpg000017147.htm ※駅伝競走大会の参加受付は、終了しております。			

水レター「びわ湖・よど川」に掲載するイベント等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp

9. 水源地マラソン紀行 (その8)

寒さを一段と感ずる今日この頃です。元旦は故郷で地元の「元旦走ろう会」に出場し、1月13日には兵庫県の武庫川の新春ロードレースに出場しました。1月は水源地での大会がなかったので、残念ながらダムマラソン大会レポートはありません。2月には月ヶ瀬梅溪早春マラソン、名張青蓮寺湖駅伝がありますのでその模様をお伝えいたします。次号をお楽しみにしてください。

この企画を始めてから丸2年が経ちました。水源地での大会出場という決意で、走る大会を決め、大会に出場する他、自宅近くの大会にも出場するようになり、平成24年は合わせて13の大会に出場しました。

毎回、スタートラインに立つ度に「今日も苦しくなるのか。苦しいのは嫌だ」と不安と後悔の念を抱きつつ、苦しんで辿り着いたゴールでも「今日も残念な走りだった」と思うことの繰り返しです。同じ時期にランニングを始めた家内に抜かれるのが嫌なので、そのことが走りの支えになっているのかも知れません。1年半前、二人で初めて出場したハーフマラソンでは30分くらいのタイム差でしたが、今では約15分のタイム差に縮まっています。加齢から考えると2年くらいで逆転？やばい状態です。何れにせよ、いつまで走り続けるのでしょうか？歳をとっても早いランナーは沢山います、そんなカッコよい目標は別にして、何とか退職までは元気に走りたいと思う今日この頃です。

我が機構内でもランナーが増えつつあります。昨年にサブスリー（フルマラソン3時間以内で完走すること）を2度も達成した人（超人）、涙のサブフォー（フルマラソン4時間以内で完走）を達成した人から、初めて大会に参加する者まで幅広です。参加する人の思いはそれぞれ異なるものの、ダムに関わるものとして、微力ながら、水源地の大会に出場して地元のお役に立てばという純粋な動機もあるでしょう。つい最近まで各地で行われていた野球大会やテニス大会などのレクリエーション活動が廃止されたこともあって、そうした大会に代わる闘いの場を求める人もいるでしょう。何れにせよ自分自身の健康を自分自身で支えなければならないということは確かなことです。お金をかけず、元気で長生きするためには良いスポーツなのではないでしょうか。何はともあれ、ランナーが増えて、大会の話で盛り上がり、楽しくビールが飲めたら幸いです。

(ダムを走る男)



布目ダムマラソンでへたれる筆者

編集後記

私事ですが、昨年12月頃から、仕事が終わった後、大阪城周りのランニングを始めました。

毎年、この時期になると、各地でマラソン大会が開催される時期となるので、その練習をしているといったところです。大阪城の外周は、約5kmありまして、マラソン初心者の私にとっては、ちょうど良い距離であり、走っている時間は約30分というチョットゆっくりとしたペースです。(^^;)

走り始めた頃は、身体の“慣らし運転”ということもあり、走りながら会話が出来るようなペースで走っておりましたが、翌日は筋肉痛でした(T_T)。近頃は、筋肉痛になることもなく、ペースを上げて、ほぼ全力で走っております。

走り終わった後は、結構しんどい(････) |_| | Oですが、帰宅後は疲労回復のため、ゆっくり風呂でマッサージを行い、アルコール飲料で燃料補給！？をしたら････、いつの間にか就寝(=_=) スヤスヤ････、翌朝の目覚めはスッキリ！です。調子に乗って、アルコール飲み過ぎにより、うたた寝をして、体調を崩さないよう気を付けたいと思います。

年末頃からインフルエンザも流行っておりますが、外出後には手洗い・うがいを欠かさず、健康な毎日を送れるよう心掛けたいと思います。

皆さま方に置かれましても、規則正しい生活と体調管理を万全にして、お過ごしください。

(関西支社 利水者サービス課 ちょう長)



水資源機構ツイッター

http://twitter.com/jwa_PR

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp